



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

11月9日号（287号）

編集／販売総本部ブランドプロモーショングループ

戦場体験放映保存の会が持つ磁力

9日(日)=1、3面

今週は「戦場体験放映保存の会」にフォーカスします。2004年に設立された全くの民間団体で、元兵士などの証言を撮影して記録し続けています。

今年9月には東京都内で「語らずに死ぬるか！ 体験を語り継ぐ集い」を開き、元兵士ら14人が登壇して体験を語りました。そこには会場の定員を超える約900人が参加し、熱心に耳を傾けました。さらに当日はボランティアが50人以上も集まりました。この盛況ぶりについて、09年から同会を取材している執筆者は驚き、「『保存の会』には磁力がある」と再認識します。この「保存の会」は「無色」「無償」「無名」という三つの原則を掲げており、その考えに基づいて聞き取りなどを重ねてきました。証言者の発言をありのまま収録する、取材時に話を一定の方向に誘導しないなどを徹底しています。スタッフは完全ボランティアで、イベント時などは持ち出しもあるそうです。そんな「保存の会」の持つ「磁力」の源泉に迫ります。



「戦場体験放映保存の会」が開いた元兵士らの証言を聞く集会

迫る

維新の現在地

9日(日)=総合面

日本維新の会の吉村洋文代表（大阪府知事）Ⅱ写真Ⅱが自民党の高市早苗総裁と連立政権を樹立することと合意し、高市氏は首相に選出され、自民と維新の新たな枠組みによる連立政権が10月21日にスタートしました。

大阪発の改革政党として2012年に結成された維新はこれまでどんな歩みをしてきたのでしょうか。党創設者だった橋下徹氏らが掲げた「大阪都構想」や連立政権樹立の経緯などとともに振り返ります。



論点

高市政権の経済政策

12日(水)Ⅱオピニオン面



10月に就任した高市早苗首相は、防衛産業など重点分野に投資して供給力を強化し、官民連携で「強い経済」の実現を目指すとしています。最優先は物価高対策だといいますが、コメをはじめ、消費者が苦しむ物価

高騰は収まるのでしょうか。そもそも、強い経済を作るため本来に必要なことは。

高市政権下の経済の行方について、経済学者の白井さゆり慶応大教授Ⅱ写真Ⅱに聞きました。

伊東市民は「自業自得」か 元総務相の視点

10日(月)=夕刊2面

トップの学歴詐称疑惑に揺れる静岡県伊東市で、渦中の田久保真紀氏Ⅱ写真Ⅱが失職しました。

かつて改革派知事として鳥取県政に携わり、地方自治行政を受け持つ総務相も務めた片山善博・大正大特任教授は「地方自治とは、自業自得の仕組みなんですよ」と言います。

どういうことでしょうか。真意を尋ねるとともに、一連の騒動からくみ取るべき教訓について考えてみました。

